



議会だより

# あさぎ

No.33

H24.2.2発行



## 成人おめでとう (1月4日須恵文化ホール)

あさぎ町での成人式が1月4日、須恵文化ホールにおいて開催されました。対象者208人(男性88人、女性120人)のうち、174人の参加がありました。久しぶりに会う友達もあつたようで、あちこちでグループの輪ができ、賑やかな成人式でした。

1億4,800万円の追加予算	…2～3P
14人が登壇(一般質問)	……4～10P
協働の町づくり元年に	……………11P
常任委員会等報告	……………12～13P
議会北海道視察研修	……………14P
町の新しい風	……………15P
町民の声	……………16P

1億4,839万9千円を追加し

一般会計補正予算

総額

109億7,003万8千円

第4回定例会が、12月12日に開会し、条例改正、一般会計補正予算、特別会計補正予算が提案され、いずれも原案通り可決されました。一般質問には14人が登壇しました。

## 審議内容の抜粋

### 総務費

#### 設計委託料200万円

**問**

統合後の岡原中学校に小学校の移転を考えた場合の委託料との事だが、これは校舎以外の施設を含めた設計なのか。

**答**

議会からの要望で、今後遊休施設の活用は企業誘致以外にも検討すべきとの意見からの委託料だが、今回は校舎のみの設計委託料である。

### 特別職給料

#### 238万2千円の増額

**問**

特別職の給料アップは3月の条例改正に伴うものだが、これまでの期間の予算措置は自治法上問題はないのか。

**答**

自治法の解釈と運用という点では違法ではないが的確でもなかった。早急に補正予算で対処すべきだったと反省している。

### 土木費

#### 工事請負費2千812万円

**問**

通学路に関係する工事だが、中学校開校に間にあうのか。

**答**

齊堂原58号線、上村岡原線、新多良木大道線、須恵中央線の4路線。延長が長いので工区を分割して発注しているが開校には間に合わない。できるだけ早く完了したい。



須恵中央線



上村岡原線

## 教育費 工事請負費3千万円

**問** 上中の管理棟と音楽室の屋根改修工事との説明であるが、これは一般財源よりも有利な特例債を活用すべきではないか。

**答** 建設地方債の総額を3億5千万円に抑えるという基本的な考えから現状となった。

## 債務負担行為 3千451万9千円

**問** スクールバス運行事業の業務委託の3年間に関わるものであるが、雇用拡大の面から本来に業務委託がベストなのか。

**答** 一部委託と全部委託の路線があるのだが、実績、安全性、コストの面からベストと考える。

## 財産収入 土地建物貸付収入 86万8千円の減額

**問** 元免田給食センター貸付料の月額18万4千円は妥当な金額なのか。借り手の事も考えて設定してほしいと思うが。

**答** 非常に景気が厳しい中で、今回残念ながら免田給食センターを利用していただいていた会社が撤退された。今後貸付料については検討したい。

# 条例の制定及び改正

### ※あさぎり町暴力団排除条例の制定

暴力団の排除を推進し、もって町民の安全で平穏な生活の確保及び経済社会の健全な発展に寄与するため

### ※あさぎり町スクールバス条例の制定

あさぎり町立あさぎり中学校開校に伴い新たにスクールバスを運行するため（浜の上線・平山荒茂線・鷺巣線・新深田線・皆越線の5路線）

### ※あさぎり町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正

平成23年9月30日に出された人事院勧告及び同年10月28日に出された熊本県人事委員会勧告にかんがみ一般職の給料月額を改定するため改正

### ※あさぎり町国民健康保険条例の一部改正

本条例中保険税の減額の表現方法の変更により条例の改正が必要となるため

## ◆ 12月定例会表決一覧（抜粋）

議案名	議員名	岩水	永井	桑原	野中	奥田	豊永隆	淵田	愛甲	小見田	豊永喜	田原	皆越	檜山	浦本	溝口	久保田	宮原
あさぎり町暴力団排除条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あさぎり町スクールバス条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あさぎり町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あさぎり町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度あさぎり町一般会計補正予算(第4号)について		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度あさぎり町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あさぎり町立上中学校校舎増築改修工事請負変更契約の締結について		○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

7P ゴミ排出量削減と分別リサイクル推進は  
豊永喜一 議員  
須恵小の複式学級の回避策は！  
久保田久男 議員

8P 遊休、過剰資産の解消に第三者の活用は  
小見田和行 議員  
健康診査の受診率を65%に上げよ  
溝口 峰男 議員

9P 中学校統合による諸問題は  
宮原盛幸 議員  
駅前整備は  
樫山 保 議員

10P 新生活運動推進の考えは  
桑原武夫 議員  
農業後継者対策は  
奥田公人 議員

## 問 TPP交渉の情報把握は

町長 情報の一元化はされていない



永井 英治 議員

永井 国は、環太平洋経済連携協定（TPP）交渉への参加を表明した。行政としては、その情報は把握しているのか。

町長 インターネットやJ.A等から間接的な情報は掴んでいるが、確たる情報の一元化はされていないのが現状である。

永井 水面下では、すでに色々な交渉が進んでいるようだが、情報を速やかに把握して、町民への情報として町の広報誌に載せるべきではないか。

町長 TPPの状況をさちっと伝える事は必要だと思う。毎回はできないがTPPの動きと町の対応という事で掲載を考えたい。

### ◆合併10周年記念事業

永井 平成25年4月あさぎり町は合併10周年を迎える。そこで、合



特産品のPRと販売活動  
(熊本東郵便局)

併に多大な貢献のあった方に「名誉町民」の称号を贈れないか。

町長 合併に貢献された方への表彰は難しいと思うが、色々な取組みで貢献して頂いた方として検討したい。

永井 熊本県には、くまモンがいる。10周年を機に町をPRするキャラクターを作ることは考えられないか。

町長 キャラクターは面白いと思うが、無理がある。まずは、町をイメージできるものを検討したい。

永井 町には、様々な特産品があるが、これを機会にまずは地元からPRすべきと思うが。

商工観光課長 これまでは、特産品をつくるのに精一杯だったが、これからはPR活動に工夫をしていく。

一般質問

## 問 産業活性化基金の活用は

町長 近いうちに方向性を示したい



田原 健一 議員

田原 3月の議会において産業活性化基金条例・予算ともに可決しているのに、活用についてはまだ提案がないが。

町長 基金を有効に活用していくためには、しっかりと方向性を決めて取り組む必要があり、庁内でさまざまな議論をしている。できるだけ早い時期に議会に説明し実行に移していきたい。

田原 「選択と集中」という観点から、現在どのように基金を活用したい考えか。

町長 農業においては新規就農者や高齢化した農業者の支援、林業においては伐採・加工・販売の仕組みを作り雇用を生み出し稼げる林業の支援、商業においては新しい加工品の開発・販路開拓の支援など農林商工をひとつの流れの中で支援する「産業活性化支援センター」のようなものを作って総合的に町全体の産業活性化を図っていくように進めている。



# 14人が登壇

将来にわたっての財政運営は大丈夫か  
愛甲利孝 議員

5P  
中学卒業までの医療費助成は  
皆越てる子 議員

6P  
国のTPP参加の影響は  
野中 進 議員

本町の工事入札は、適正か  
豊永 隆一 議員

4P  
TPP交渉の情報把握は  
永井英治 議員

産業活性化基金の活用は  
田原健一 議員

## 問 将来にわたっての財政運営は大丈夫か

### 町長 行財政改革プランを進めていく

**愛甲** 町の財政は、国の財政状況・町の借金の残高、予算の規模などからみて、いまのままでは将来的にやっつけていけるのか。今後の財政運営をどのようにやっていく考えか。

**町長** このままいくと、4、5年の内に、町の財政運営は赤字になってしまふ。いま、第2次行財政改革プランを作っている。年内に議会のみなさんにきちっと説明する。

**愛甲** 本会議が真剣勝負の場だと思う。町長の思いを、この本会議にだして議論し、行財政改革を進めていくのが本筋だ。この財政運営を担当課だけにまかせるのではなく、役場全体、町民全体で考えて、知恵を出し合い、難局をのりきっていくことこそが必要ではないのか。

**町長** 担当課だけにまかせていない。町の財政状況については、毎年の地区座談会でも説明している。第2次行財政改革プランを議会のみなさんに説明し、確認してから進めていく。

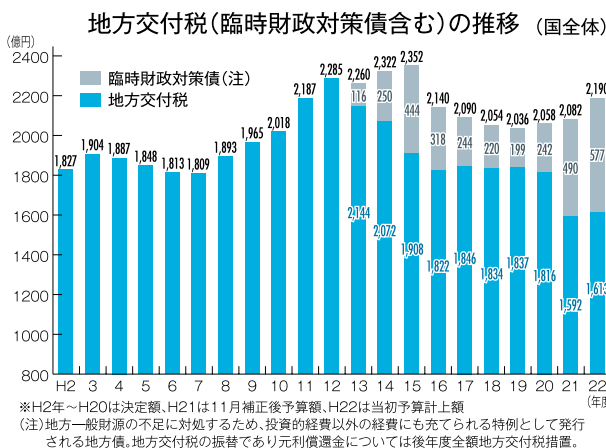
#### その他の質問

・環太平洋経済連携協定（TPP）  
問題の取り組みを

・国民総幸福（GNH）の追求を  
町の新しい理念にしては



愛甲 利孝 議員



## 問 中学卒業までの医療費助成は

### 町長 実施へ向けて検討する



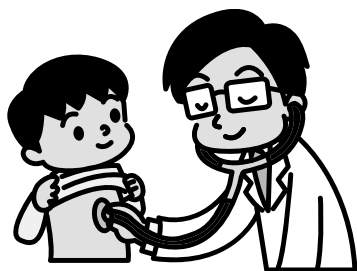
皆越てる子 議員

**皆越** 子ども医療費の助成は平成20年4月より乳幼児から小学校までということ、町長一期目の公約として実施されているが、中学校卒業するまでと引き上げる考えはないか伺う。

**町長** 子ども達を育てる環境を少しでも良くして町の子どもの数がふえてという思いで6年生までの医療費無料化を実施してきたが、一つの踏み込みも認識はしている。

**皆越** 医療費の助成に現物給付と償還払いがあると思うが、執行部として再度見直し検討するという考えはないか伺う。

**町長** 町の負担が予想以上に増えてきている。又、22年度では400万円近いお金が現物給付することにより、交付金が減額されてきている。見直しに向けては、町民の理解を得る必要もあるので償還払いについては真剣に検討すべきであると思っている。



# 問 国のTPP参加の影響は

農林振興課長

## 農林水産物の生産額が 4兆500億円減少



野中 進 議員

でている。あさぎり町に置き換えてまではやっていない。

◆振興作物等の検討は

**野中** TPPに参加した場合、農業生産額並びに地域経済への試算があればお願いしたい。

**農林振興課長** 農林水産省の試算で説明したい。国全体で農林水産物の生産額がTPP参加により4兆500億円減少し、食糧自給率は40%から13%に激減し、農業の多面的機能として3兆7千億円の損失、\*GDPで8兆4千億円の減少、就業機会では350万人が減少すると農林水産省の影響試算が

**野中** あさぎり町には231戸の畜産農家がある。これも長引く不況、デフレ、ユッケの集団食中毒事件等で大変な打撃をうけている。また、来年から22戸のたばこ農家が、たばこを廃作されるが、何か振興作物等の検討はしているか。

**町長** 農家の方の置かれている厳しい環境はよくわかる。葉草には力を入れていて。農産物の差別化あるいは新しい作物についても力を入れていく。

◆定住型公営住宅の建設は

**野中** 合併後の地域間格差をなくすために中学校跡地、特に須恵中グラウンド跡に定住型の10年、15年で払い下げできる町営住宅の建設は。  
**町長** 提案いただいたのも十分よく検討しておくべき事項と思う。



\*GDP(国内総生産)：国内で新たに生産されたモノやサービスの付加価値の合計額のこと

# 問 本町の工事入札は、適正か

**町長** 入札率は高止まりしている



豊永 隆一 議員

**豊永** 入札の度に談合情報流れ恥ずかしい。本町では、請負、契約、指名は副町長を長とした委員会を設置し、内部牽制作用に努めていると聞くが、不正防止にどんな役目を果たしているか。

**町長** 入札率は高止まりしていると感じている。入札委員会は別の組織でやっているが、その内容でやって頂いている。

**豊永** 工事入札が一部の特定業者に傾いていないかという声を聞く。入札に町長の支配力、介入力は全く無いか。

**副町長** あつてない。  
**豊永** 入札結果と談合情報と同じで、ものすごく疑う。町長には、談合情報公取委への通報義務があるが。

**町長** 町の基準に従った対応を指示している。  
**豊永** 問題があるのに、入札監視委員会が動いていないが。  
**総務課長** 談合の事実がないと判断した。

**その他の質問**  
・上給食センター跡地のコンクリート塊除去問題





豊永 喜一 議員

# 問 ゴミ排出量削減と 分別リサイクル推進は

町長 今後、真剣に取り組んでいくテーマ

**豊永** ゴミ排出量削減と分別リサイクル推進は、地球温暖化対策にもつながる大変重要なことだと認識しているが、町長の考えは。

**町長** クリーンプラザにかかる費用が年々増えている。重点取り組みの一つとして今後取り組んでいく。

**豊永** 年々人口は減っているのにゴミは増えているが、その原因と対策は。

- 保健環境課長**
- ①資源ゴミ等の分別がわからない。
  - ②分別が非常に面倒くさい。
  - ③野焼き禁止に伴い枯葉や木くず等が可燃物として出されている。
  - ④使い捨て商品が増えている、などが考えられる。

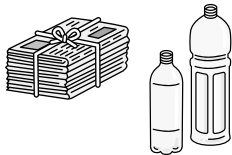
**豊永** 分別リサイクルについては、地域住民の理解と協力が必要だが、23年度上半期の成果は。

**保健環境課長** 雑紙の資源化に非常に力を入れており、前年度比1・5%増、布類前年度比1・2%増と見込んでいる。

**豊永** ゴミ排出量が削減され処理費が減少した場合、地域住民に還元出来ないか。

**町長** 還元の仕組みは今後のゴミ総減量作戦には必要な検討事項と思われる。

その他の質問  
・生ゴミ堆肥化推進計画は



一般質問

# 問 須恵小の複式学級の回避策は！

町長 来年度内の町営住宅の一部入居も

**久保田** 来年度の須恵小学校の複式学級の回避に向け、現在、学校、PTA、地域を挙げて努力されているが大変苦慮されている。町、教育委員会の対応策は。

**教育長** 単式になるよう一生懸命努力している最中。ただ、今後も続くので、須恵小の活性化、魅力ある学校になるよう努力したい。

**久保田** 抜本的な解消策は子育て世代の人口を増やさないと出来な。中学校跡地への町営住宅の建設を来年度中の入居を目指して取り組めないか。

**町長** 基本設計を速やかに行い、来年度の着工、できれば年度内に一部入居も可能なように進めていきたい。

## ◆地域間格差解消を

**久保田** 町内の平坦部と中山間部において地域間格差が年々感じられる。これまでのように全域に同一の事業を展開しても格差は埋まらない。今後、中山間地域等直接支払い制度と農地・水保全管理支払交付金の両事業を地域によっては併用できないか。

**農林振興課長** 制度的には併用可能で、県内では13市町村で取り組んでいる。こ



須恵小学校

これらの事業は、あくまで行政主導でなく、地域主導で取り組んでいただきたい。

**町長** 課題が大きく大事なことであるから、来年度前半位でも一定の方向ができるよう検討していく。

その他の質問  
・深田松林の再生は

# 問 遊休、過剰資産の解消に第三者の活用は

**町長** まずは、役場職員に専任担当的に取り組ませる



小見田和行 議員

**小見田** 平成26年を境に大きな財政運営転換を図るべきあざざり町にとつて、合併、また中学校統合により生じる公の資産の過剰、遊休化が予想される。維持管理費等の財政に与える損失の長期化は、何としても避けるべきと思う。町長の考えは、

**町長** 過剰な資産は、維持メンテナンスに金がかかる。建物等は放置しないで、何らかの条件で使っていただく取り組みを最優先にすべきと思う。

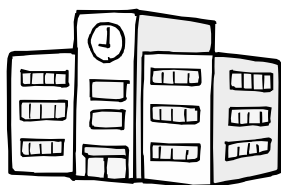
**小見田** 解消策に部署の増強なり、専門的な第三者を入れて取り組むべきではないかと思うが。

**町長** 職員の能力を上げて取り組むことが大事だ

と思う。まずは役場内でやってみよう。

◆指定管理委託料の累積剰余金の使途はどう考えておられるか。

**福祉課長** 指定管理者と協議し、緊急時の施設の維持、補修費等を残し、契約期間の残りが2年であるのでその委託料として還元していく。



# 問 健康診査の受診率を

## 65%に上げよ

保健環境課長

行政区に出向き、受診の必要性をうったえていく



溝口 峰男 議員

**溝口** 「保険税を下げる」ために健診の受診率を65%に上げることが重要。受診率ほどの様な状況か。

**保健環境課長** 22年度、56.9%、年々減少の傾向にある。免田55.9%、深田54.2%、上48.4%、須恵46.1%、岡原39.5%の順である。

**溝口** 受診率が24年度、65%に達すると国民健康保険会計から支出して

いる「後期高齢者支援金」が10%減額される。この事が「国民健康保険税を下げる」大きな要因となる。その取り組みは、

◆保健環境課長 65%達成に向け行政区に出向き地域の方々と協力して進めていく。

◆学力の充実を

**教育長** 教育指導主事の配置で、先生方の指導力も上がり成果が上がっている。このまま継続していく。

◆林業の活性化は

**農林振興課長** 24年度、述べ4千170名を雇用

する計画で施策を実施する。

◆定員管理は

**溝口** 職員数は、人口100人に一人、170名余にすべきではないか。  
**町長** その方向で、今後進めていく。



木材搬出作業



# 問 中学校統合による諸問題は

## 町長 先生方が約30人削減になる

**宮原** 町長は常日頃、雇用と言われるが中学校統合によってあさぎり町の職場・学校から30人程度の先生達が去られる。また雇用とは別に中学校教育に大きな影響を与えると思う。総合的な学力の低下と生徒間の学力の差が開くのではないかと懸念するが…。

ている。教育指導主事をいれて全体的な教育の充実を図っている。

**町長** 統合すると中学校の先生方が約30人削減になる。相当対策をとっていかないと子ども達の学校の成績とか部活に支障が出ると思っている。暫定的に定員より若干多い人員配置を県にお願いし

**教育長** 学校規模が大きくなると学力が下がる懸念されているが全国でも県でも学校規模の大きい学校の学力が低いという統計は一つもない。



完成間近のあさぎり中学校増築棟

**宮原** 生徒のリーダー育成、部活動で中体連等に出席できない生徒が増える事、体育大会等で駐車場の問題、大雨の時の送迎の問題があるが。

**教育課長** 体育大会には上中学校の施設・駐車場の他、町有地を利用したい。

**教育長** リーダー育成には万全をつくす。中体連等の参加は特例をお願いしている。

**その他の質問**  
・標準財政規模移行後の対策は  
・人事配置は



宮原 盛幸 議員

# 問 駅前整備は

## 町長 商工会と打ち合わせながら方向性を見出していく

**榎山** 駅前整備について現在の進捗状況は。

**町長** 平成25年度中に駅前から南稜高校に向かって歩道をつけ国道筋の歩道整備等すべて終わる予定。又免田Aコープ前の駐車場整備については基本的に予定通り進んでいる。



駅前整備事業

**榎山** 駅前整備に伴い駐車場も駅前に確保出来るが現在借地になっている中央タクシー前の大正町駐車場は継続するのか。借地料はいくらか。

**商工観光課長** 110台程度で増減はないと考えている。

**榎山** 今後、いろんなイベントを開催したりスポーツ館の利用者増による駐車場が不足するといった隣接駐車場用地を求めるといっているのか。

**町長** 商工会の意向も十分踏まえて考えていきたい。

**町長** 現在進めている駐車場の利用率をよく見極めたうえで協議を進めていきたい。商工会とまずよく打ち合わせをしながら方向性を見出していき



榎山 保 議員

**榎山** 駅前整備をされた中で110台程の駐車車が確保出来るかと聞いているが変更はないか。

たい。

# 問 新生活運動推進の考えは

町長 今後、見直す時期がきている



桑原 武夫 議員

## 新生活運動推進実践事項

私たち深田村民は、村民相互の生活改善を推進し、より明るく豊かな生活と村づくりを進めるつぎ次のことをたたく守りましょう。

- 結婚式については
  - 結婚金は当人の月収の2～3倍以内とする。
  - 結婚披露宴は会費制を奨励し、会費は3千円以内とする。  
(引き出物、記念品は絶対しない)
  - 結婚式は並びに披露宴は中央公民館又は公民分館を利用しましょう。  
※ 司会者は公民館にてお世話します。
- 出産祝い金について
- 差別(就職、入学、旅行)について
- 上棟、新築祝い金について
- 病氣見舞いについて
- 敬老、初節句、内祝い等について
- 香典について  
※初盆等も同じ
- 葬儀について
  - 深田村社会福祉協議会で準備した祭壇の利用を
  - 夜の訪問は10時までとする
  - 会合等の出席は時間厳守する
- 環境美化につとめる(空き缶等はリサイクルに)

深田村中央公民館  
深田村新生活運動推進委員

桑原 合併前、旧深田村公民館重点目標の中に、新生活運動推進実践事項を掲げ、村民理解のもと公民館運営審議会を中心に推進してきた。旧各町村においても推進されてきたと思う。しかし合併とともに行政、町民の中から、自然と生活改善ということが薄れたように考える。特に、冠婚葬祭である。年金生活をされているお年寄又、現在子育て中の若い人も切実な思いを持たれている。この様な町民の声がある中、出費多難な折、皆さんそれぞれ昔ながらの地域の付き合いをなされている。町民理解のもと、あさざり町新生活運動に取り組み考えは

町長 議員の質疑は、時代の流れに沿っている事だと受けとめている。全体的に所得が厳しくなっている中、今の現実を見るとき、負担感が増えているように思う。

この時代に合わせた付き合い、行事の費用負担の軽減取り組みは、今後見直す時期にきている。ぜひ何らかの形で実践できればと思う。

一般質問

# 問 農業後継者対策は

町長 真剣勝負で臨みたい



奥田 公人 議員

奥田 あさざり町の基幹産業は農業であり、農業の振興なくして本町の発展はあり得ない。私達の生命を維持していくうえで不可欠なのは食糧であり、その食糧を生産、加工する農業が極めて不振であり、農業後継者の確保に悩んでいることは憂慮すべき現象である。農業後継者はみずから農業をやるうという気持ちにならないと、農業をやっていくうえで非常に難しいと私は思う。あさざり町の現在において農業後継者は何戸あり、そのうちで後継者のいる農家といない農家の数はどのような状況になっているか。

町長 町の農業後継者の就農とか育成について本当に真剣勝負で臨みたい。

農林振興課長 2005年の農林業センサスデータから抽出した内容による



球磨地方新規就農者励会研修

と、専業農家が355戸で、第一種兼業農家が272戸、第二種兼業農家が500戸で、あさざり町内の農業を営む戸数が1千127戸という状況になっている。農業経営者数ということ、1千127の中で、同居後継者のいる農家数が350戸、うち同居農業後継者のいない農家数が777戸である。

その他の質問

一、農業後継者の花嫁対策は

二、役場職員の町内居住対策は

# 協働の町づくり元年に

議会議長 橋爪 和彦

新年明けましておめでとうござ  
います。

昨年、6月議会から、本会議の  
インターネット中継を始め、7月  
には、議会報告会を開催いたしま  
した。何れも、情報を公開し、ご  
意見を拝聴し、住民を代表する機  
関としての本来の役割を果たすこ  
とを目的とした取り組みです。今  
年4月は改選期ですから、メン  
バーや役職の交代はあると思いま  
すが、住民代表という姿勢に後退  
はありませんと信じています。あ  
さぎり町議会は、本年も精一杯頑  
張りますので、どうぞよろしくお  
願い申し上げます。

さて、町広報等で頻繁に目にす  
る協働とは、これからの町づくり  
の取り組みに不可欠な概念で、町  
民と行政が対等の立場で、お互い  
の不足を補完し協力し合うことだ

と考えます。例えば焼却・埋め立  
てゴミ・ゼロ（ゼロ・ウェイスト）  
は世界の潮流で、町が目指すべき  
目標だと思えますが、その成功に  
は、住民と行政の協働が不可欠で  
す。他にも、行政単独では解決が  
難しく協働が求められる分野は多  
くあります。しかしながら現況は、  
行政目線による行政主導の取り組  
みが、町民の方々の参加を拒む傾  
向にあると感じています。

快適で住みやすい「ふるさと」  
を建設するために、本年が、町民  
目線による、真の「協働の町づく  
り元年」になることを心から期待  
しています。

最後に、新しい年が、町民の方々  
にとって素晴らしい一年でありま  
すよう心から祈念いたしました。ま  
年頭のご挨拶とさせていただきます。



12月定例議会初日(平成23年12月12日)

# 常任委員会報告

## 総務文教常任委員会

### 学校統廃合後の問題を研修 川内原子力発電所も視察

平成23年11月14日から15日にかけて鹿児島県南さつま市教育委員会及び薩摩川内市、川内原子力発電所へ総務文教常任委員会先進地研修を実施した。

南さつま市は、旧加世田市を中心に1市4町が合併した市で、その区域内に合併当初、25の小学校を運営しており、合併を機に統廃合再編をはかっておられ、小中一貫校として再編した坊津学園や、加世田中学校へ津貫中学校を再編等されている。

私達が心配をしていた、合併によるいじめ等はなかったかお聞きしたところ、PTAはとても心配をしていたそうだが、現実としてはいじめの実態はなかったとのことだった。児童生徒の出欠はバス運転手へも通知し、運転手が、誰が、何人乗車するかを把握し、乗せ忘れなど無いように配慮しているとの事だった。

次に、薩摩川内市、川内原子力発



南さつま市教育委員会研修

電所において、災害対策、安全管理対策、また、本年3月に発生した福島第1原子力発電所の現在の事故対応の状況等の説明を受け、今般問題になっている原子力施設の災害対策について研修を受けた。

内容としては、福島原発事故を踏まえて、電源の確保のため高圧発電機車の配備、冷却水及び冷却水を送るポンプの確保、重要機器の防水対策、予備品の確保等の対策を平成26年までに順次実施していくとのことだった。

## 厚生常任委員会

### ごみを出さない町づくりを研修

10月11・12日、次の所を研修した。

①福岡県大木町

「大木循環センター」

ごみを出さない町づくり、バイオマスの活用、再生可能エネルギーの普及などに取り組み、5年間でごみを47%、バイオマス資源代により処理費を約4千100万円削減された。あざぎり町も先進地を参考に踏み込んだ取り組みが必要と思う。

②佐賀県多久市「国保税と医療費」

③佐賀県玄海町「子ども医療費」



大木町循環センター研修

## 建設経済常任委員会

### トータル林業の取り組みを研修

◎11月1日(火)「住宅リフォーム助成制度」の実施を求める陳情書について並びに「簡易水道水源地掘削現場調査」あざぎり町協働による町づくり環境整備費補助条例」について調査を実施した。簡易水道事業で一番経費がかかっている岡原地区の水質改善に最優先で取り組むよう要望した。

◎11月9日～11日の3日間、長野県根羽村は「トータル林業の取り組み」愛知県安城市は「明治用水土地改良区の造林事業」、愛知県新城市では「農業公社事業」の視察研修を行った。町長、農林振興課・商工観光課職員も同行し、この目で学んだ事を24年度の事業に生かしていくこととした。

◎11月21日(月)「街中駐車場用地購入の要望書」について。提出者の尾鷹一範商工会会長から意見を聴取した。町の方針も聞く必要があると判断し次回に町長に出席を求めることにし、他の2件についても継続調査とした。

◎12月2日(金)「街中駐車場用地購入の要望書」に関して町長に出席を求め意見を聴取したが、「あさぎり駅前整備事業」と関連性があるので慎重に検討、調査することとなった。また、「街中駐車場」を分割したところでの再鑑定を依頼することにした。

「住宅リフォームの助成制度」については、採択することにし、その事業内容をまとめることとした。

「あさぎり町住民協働による町づくり：条例」は、「あさぎり町住民協働による環境整備資材支給事業条例」に変更し内容を検討、近々議会全員協議会に諮り議員提案で条例の制定を計画している。



長野県根羽村産木造モデル住宅

# 一部事務組合議会報告

## 上球磨消防組合議会

第2回臨時会が10月19日開催された。主なものとして、承認第1号で、今年度水槽付き消防ポンプ車を更新する予定であったが、東日本大震災の影響で部品の供給が遅れ年度内の納入が厳しい状況になったため、繰越明許費を設定する必要があると提案があり、原案どおり可決された。また、第2回定例会が11月22日に開催された。

主なものとして、承認第2号で、平成22年度の一般会計決算が、歳入総額7億4千56万9千360円、歳出総額7億2千873万3千668円、差し引き残額1千183万5千692円で原案どおり可決された。

## 公立多良木病院企業団議会

平成23年第4回球磨郡公立多良木病院企業団議会定例会が23年11月22日会期1日で開催され、病院事業、老健事業及び健診事業補正予算の内容は収益的支出において、人事院勧告による給

与改定や退職手当負担金により580万1千円の増額補正、資本的支出については収入として、新型インフルエンザ患者入院設備整備補助金432万円、支出については人工呼吸器、温冷配膳車等の器械備品の購入費、また企業債償還金等により889万4千円の増額補正内容で可決された。一般質問には3人が登壇された。

## 人吉球磨広域行政組合議会

平成23年11月25日第4回定例会が開会、特別会計を含む4件の平成22年度決算認定について、中竹耕一郎決算特別委員長(山江)より報告、質疑、採決の結果認定。承認第1号から議案第23号までの5件を一括議題とし、承認第1号、専決処分承認を定めることについて、議案第20号一般職の職員の給与条例制定について、議案第22号特別養護老人ホーム特別会計補正予算(第2号)

議案第23号一般会計経費の負担金の総額の補正(第1号)

以上、5議案、原案どおり可決し定例会(1日目)を閉会した。

## 川辺川総合土地改良事業組合議会

第3回川辺川総合土地改良事業組合議会が、11月28日、会期1日で開催された。議案については、専決処分事項の承認、職員の給与条例の一部改正、補正予算の3議案でいずれも原案どおり可決された。一般質問では、相良村選出の横山良継議員が、「事業の見直し」と質問した。これに対し、松本組合長から「既設導水路案を推奨している。相良の土地改良区の同意がとれていない。休止になっているから3年になろうとしているので、結論を出すときになつていく」という答弁があつた。

## 人権擁護委員に推薦



田中 昭夫さん(65歳)  
あさぎり町上南2234番地

# 農業施策の実態と議会改革の進め方を研修

『郷土を知るためには旅に出よ』という言葉があります。

今回、10月24日から26日までの3日間の日程で議会議員18人と議会事務局長で北海道研修をしてきました。

日本の土地利用型農業の中で、先進地といわれている帯広平野の士幌町役場と帯広市役所を訪問し農業施策の実態そして議会改革の進め方を研修してきました。

18人の議員、それぞれが深い感銘をうけて来ました。研修のあとに提出されている報告書の中から、今回は、平成24年1月12日に、任期を残して突然他界されました、故 淵田勇一議員の報告書を掲載し、ご冥福をお祈り致します。



帯広市議会議場



士幌町役場



## 議会北海道視察研修報告

平成23年11月2日提出

議会議員 淵田 勇一

### 1. 士幌町役場 視察研修(10月24日)

#### 農業施策について

午後3時過ぎに到着、農協が建設している研修施設に案内され町の様子をビデオで見せてもらった。面積259.13平方キロ、人口6,579人、2,589世帯、耕地面積160平方キロ、あさぎり町の面積

160平方キロの1.6倍。ほとんどが平坦な農地といえる。

特記すべき内容として、馬鈴薯コンビナートを設置し、生産から加工流通まで行われていた。

例を挙げると、

- ① 馬鈴薯加工施設として澱粉工場、ポテトチップス、フライやコロケなどの食品工場を農協主体で進められていてこの他にカルビー、明治製菓など大手食品メーカーと提携している町である。
- ② バイオガスプラント活用、家畜の糞尿による再生可能エネルギー製造が挙げられる。すでに1基約8,000万円をかけて稼働している。
- ③ 町立農業高校が後継者の育成に貢献している。士幌高校アグリビジネス科農畜産の実習を通して技術知識を習得する生徒数40人、フードシステム科では流通、販売知識などを学ぶ生徒40人。
- ④ 農業共済事業を町で取り組んでいるのも珍しいと思った。何ととっても農業振興に農協が主体性を発揮していることを強く感じた。

次に議会改革について

- ① 士幌町のまちづくり基本条例が制定されて、町が定める最高規範として位置づけている。
- ② ナイター議会の開催が住民の開催要望により第3回定例会(9月)に実施されている。またナイター議会についてアンケートもとり今後充実を図る予定。
- ③ 議会議員定数13人、町民の声が反映できるよう努力されている。

### 2. 帯広市役所視察研修(10月25日)

午前9時に帯広市役所議会事務局に着くと議員の案内で委員会室に案内された。副議長さんのご挨拶を受け帯広市の特徴を改めて認識した。広大な農地が広がっている事から農業の規模の大きさについて想像はしていたが日本一の農産品が5項目もあったのには驚いた。①豆の生産、②小麦の生産、③馬鈴薯メークイン生産、④牛乳生産105万t、そして⑤砂糖大根(ビート)の生産である。そのような農村都市で人口170,580人、農家戸数740戸、耕地面積20,474ヘクタール、農家1戸当たり27.7ヘクタール、農業生産額277億9,900万円、といったところであった。一方財政では一般会計総予算額803億円である。

議会改革については議会運営委員会において38項目にわたって検討をしてある。これらを持ち帰ってあさぎり町が取り入れてみる案件を具体的に考えて見ることも大切。

3. 天気も少し雨にあった位で恵まれた天候、コースも滅多には入れない行政政府にお邪魔出来て、事故も無く終えたこと、企画から引率までお世話いただいた関係者、事務局に改めてお礼を申し上げます。この研修で得たものを生かされて各議員が活躍されん事を祈念します。ありがとうございました。

## ブランド化へ向け 「推奨商品」8品目を認証



あさぎり町農林商工連携支援協議会で町の特産品として「推奨商品」を認定し、1月4日同協議会主催の「新春の集い」において事業者に認定証を交付されました。一般のモニターによる1次審査、さらにブランドを専門とする大学の教授による2次審査と、食味、価格、安全性、独自性などが厳正に審査され、申請を受けた19品目の中から8品目を認定されたものです。これから、地域内外への販売に向けて認証商品の認知度を高める事で、ブランド化へ向けたさらなる飛躍が期待されます。

認証商品と、その事業者と代表者は次のとおりになっています。

認証商品	事業者・代表者
朝霧の雫・頑固一代「球磨焼酎セット」	奥添酒店・奥添昭典
霧のおくりもの（しそジュース）	霧の郷本舗・岩本清子
てっちゃん家のフルーツマト	縦木徹郎
お野菜入りパスタギフトセット	あさぎり農園・矢神活郎
菜園の実ラスク	ペーグルの樹・川口義枝
あさぎり豆乳	ふるさと振興社
筍ご飯の素	あさぎりフレッシュフーズ・春永正光
つぼん汁	あさぎりフレッシュフーズ・春永正光

### 議会ひとくちメモ 14

## 起債残高とは

起債残高とは、町が借金（地方債）しているお金の未償還金の残高のことです。道路や橋を作った時の借金、学校を作った時の借金などで、これから返済していかなければならないお金（償還金）の残高です。前にこの欄でとりあげました臨時財政対策債もこれに含まれています。

後年度、これに利子をつけて年次計画で返していかなければなりません。もちろん、過疎対策事業債や義務教育施設事業債など、元利償還金を、国が地方交付税で面倒みてくれるというものもあります。この中で、臨時財政対策債については地方交付税の原資の不足分を町の方で借金してもいいですよというもので、地方交付税の先食いだともいわれています。元利の全額を地方交付税でみてくれることにはなっていますが、国の財政難のなかで、地方交付税制度が大きく揺らいでいる現状では、その額が絶対的に保証されたものではありません。町の起債残高の合計は、一般会計、下水道会計、簡易水道会計、それに債務負担行為額などあわせると236億円になっています。

# 町の声



深田東  
白柿洋征

町議会の録画及び議事録がネット配信され、議会報告会も開催されるようになったことは、大きな進展と評価したい。このことは、各議員の言動を通して、資質が問われる機会が増えたこととなります。ところが、議会での質問内容・重要性に疑問を感じる場面が見受けられる一方、事前通告されている質問に対し、準備・調査不十分な答弁もあり、二元代表双方に、緊張感と使命感に欠けている現状を指摘せざるをえません。「全町民から選挙で選ばれた議会議員は、常に町民とともに歩み、行動し、創造性豊かな政策づくりに務めることによって、町民に信頼される開かれた議会を創ることを誓い、町長との健全な緊張関係を築くことにより、民主主義の発展に寄与・貢献したい。」

このように御船町議会基本条例の前文に記載されています。こういう意識を持った我々の代表を議会へおくりこみたいし、選挙民である我々の町民の責任であるという思いを深くしています。



上南  
中村陽子

ネットを使った  
情報発信を

インターネットや口コミでお米を販売するようになって6年目を迎えます。昨年やっと光回線が開通して、「つながらない」というもどかしさから開放されました。パソコンはわかかもんが使うもの。という発想はすでに昔の話になりつつあります。四国のある村では高齢者達がパソコンを使って農作物の市況を見て受注販売しているといいます。またこちらでも携帯やメールを使いこなす高齢者も少なくありません。ネットは架空の世界であるとか無機質なものであると思われがちですが、実際お米を販売してみて人とのつながりは実社会と何らかわりません。むしろ顔が見えないからこそ、買って下さるお客様の安心のために気づかう事も多くありますし、お客様にとっても、どこの誰が作った物なのかを安心して購入できるメリットもあります。

まだまだ、あさぎり町内でもネットを使った情報発信が少ないように思います。多くの情報を発信することによって、「あさぎり町」と検索するだけで、素敵な観光名所、美味しそうな作物、特産物が多く検索結果として出てくるようになると、もっと豊かな町づくりに発展していくのではないかと思います。

## 編集後記

今期、最後の議会日より発行となりました。4年間にわたり、町の動きを、出来るだけわかりやすくお伝えするようにしてきたつもりではありますが、うまく伝えることができたでしょうか。

さて、昨年は大地震、大津波という自然災害、原子力発電所からの放射能漏れという大きな人災が起きてしまい、私たちがかつて経験したことのない驚きと怖れを感じた年でした。

その中で、地域の絆、日本全体の絆というものも、強く感じた年でもありました。千五百年以上もの歴史が残る我が郷土を、これからも持続可能な地域社会にするため、少しずつでもあゆみ続けたいものです。(愛甲)

### 編集・発行責任者

### 議長 橋爪和彦

副委員長 皆越利孝  
委員長 愛甲孝  
委員 奥山 保子  
委員 桑田 英治  
委員 永井 武夫

発行／あさぎり町議会 編集／議会広報調査特別委員会  
〒868-0422 熊本県球磨郡あさぎり町上北1855番地  
TEL(0966)47-0312・FAX(0966)47-0265  
E-mail syoki-gikai@town.asagiri.lg.jp